
持続性社会の環境心理シンポジウム

～人々の価値感や行動から考える

主催：一般社団法人 日本建築学会 環境工学委員会 環境心理生理運営委員会 持続性社会の環境心理小委員会

日時：2014年11月28日（金） 13:30～17:30

会場：建築会館 301+302 会議室（東京都港区芝 5-26-20）

東日本大震災を経て、持続性社会をどのように構築していくかという命題は切実さを増しているが、その道筋は様々な観点から考えていく必要がある。エネルギー需要の多くを占める住宅では、居住者自身の判断によって、環境性能の高い設備機器への更新やそれらの効率的な使用、及び持続性社会に貢献する行動がなされなければならない。従って、住宅部門での省エネの追求においては、より効率的な設備機器の開発と平行して、そのような設備機器の使用や導入を含む人の行動の望ましいあり方や行動につながる人々の意識を把握し、持続性社会のための建築環境技術と人との融合を考えて行く必要がある。そこで、本シンポジウムでは、環境行動や人々の価値感に関連する最近の研究事例をご紹介します、議論のきっかけとしたい。

<プログラム>

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. 趣旨説明 | 宗方 淳（千葉大学） |
| 2. 最近の環境エネルギー需要について | 加藤 未佳（金沢工業大学） |
| 3. 研究紹介 | |
| 3-1 震災前後の学生の省エネ行動 | 槇 究(実践女子大学)、辻村 壮平
(鉄道総合技術研究所) |
| 3-2 家庭における節電の実態と行動変容策 | 西尾 健一郎（電力中央研究所） |
| 3-3 省エネ行動・エコ行動に対する意識 | 讃井 純一郎（関東学院大学） |
| 3-4 省エネ照明設備への意識 | 宗方 淳（前掲） |
| 4. 総合討論 | 小島 隆矢（早稲田大学） |

参加費：会員 2,000 円，会員外 3,000 円，学生 1,000 円（資料代含む，当日会場でお支払いください）

定員：60 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=849> よりお申し込みください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 中村

TEL 03-3456-2051 E-mail : nakamura@aij.or.jp